

岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報 第2号

第2回会報によせて

関西支部長 藤井 孝友



岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報を昨年にひきつづき、第2号の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。さて、昨年一年間をふりかえってみますと、まずは、6月6日（日）に関西支部の第2回定期総会を大阪弥生会館にて行いました。懇親会では、参加会員皆様との旧交を温める場として、随所に人の輪がうまれ、時間を忘れ、青春時代の思い出にひたり、楽しいひと時をすごされ、また、懇親会最後のビンゴゲームには、皆さまにも楽しんでいただいたと思います。

その外、新たな企画として、12月には、第1回交流ゴルフコンペの開催、そして忘年会などを開催しました。昨年定期総会以降、関西支部の役員会は7月、10月、翌1月、4月の計4回開催し、総務委員会、行事委員会、名簿管理委員会そして会報編集委員会などが、さまざまな問題につき、議論や検討を重ねてきました。その成果を支部運営や次回定期総会等へ是非、生かし、関西支部の発展へつなげていく覚悟です。

最後になりますが、関西支部会員増加への皆さまのご協力を再度お願いいたします。

ご挨拶

工業倶楽部会長 臼井 憲義



岐阜大学工業倶楽部・関西支部の会員の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は工業倶楽部の活動・事業にご協力・ご支援いただきまして感謝いたしております。

このたび岐阜大学工業倶楽部の会長職を拝命いたしました。微力ではございますが、工業倶楽部発展のため精一杯努力致す所存でございますので、皆様のご指導・ご支援・ご協力をなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

今大学は法人化の第二期を向かえ、生き残りをかけた活動が行われています。地方大学の役割は、地域の発展に寄与する人材育成と新たな産業を生み出す知と研究成果の創出が使命となっています。我らが学び舎岐阜大学は、「学び、究め、貢献する岐阜大学」の理念のもとに、地方大学のトップランナーを目指しています。大学の今後の存続・発展は、「いかに社会に貢献し激動する国際化時代に対応し、信頼され期待される岐阜大学と認知されるか」ということにかかっています。

工業倶楽部は教育環境の充実や人材育成を支援してまいりましたが、さらに近年、卒業生の就業環境が非常に厳しくなり就職活動も大学の一つの大きな課題となっております。その対応として工業倶楽部会員による就職活動支援も事業の一つとなっております。工業倶楽部としては会員相互や地元企業との絆や人的ネットワークを活かした支援、会員皆様の属されている産業界の情報提供支援などの充実が益々重要になってきたといえます。各種業界でご活躍されている岐阜大学OBに期待される所以がここにあります。

岐阜大学工業倶楽部・関西支部会員の皆様には、岐阜大学が置かれている現状をご理解いただき、「なくてはならない岐阜大学」となるよう、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

岐阜大学工業倶楽部・関西支部会員の皆様のご健勝と今後益々の発展を祈念いたします。

岐阜大学工業倶楽部関西支部委員会報告

○ 総務委員会 ○

総務委員長 浅沼良行

第2回総会報告

2010年6月6日、岐大工関西支部第2回総会が大阪弥生会館で開催され、第一部：総会、第二部：記念講演を行ないました。記念講演は岐阜大学副学長八嶋厚氏「学び、究め、貢献する岐阜大学」、元本田技研工業（株）専務取締役岩井正樹氏「経験を生かす60歳からの仕事」でした。参加者はご来賓が6名、会員が39名でした。写真を下記に添付します。また、今期は役員会を5回（7/10・10/2・1/29・4/2・5/7）開催しました。



H22.6.6 岐阜大学工業倶楽部 関西支部 第2回定期総会 於大阪弥生会館

○ 会報編集委員会 ○

会報編集委員 菅村 浩

岐阜大学工業倶楽部関西支部会員の皆さまにはご健勝でご活躍のことと存じます。日頃より関西支部の活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。

会報編集委員会の活動についてご報告いたします。まず重要な仕事は、年一回の会報誌の発行です。一年間の関西支部の活動を皆様にわかりやすく、見やすい紙面で報告し、意見交換や情報発信の場となるように工夫して編集しています。

次に、関西支部のホームページの運営があります。こちらは、インターネットを使って情報発信をしています。会員の皆様に有意義な情報を素早く的確に発信していくよう努めています。これからも会員相互の情報交換が出来るように改善を続けていきたいと思っております。関西支部に対する要望や意見がございましたら何でも会報編集委員会にご連絡ください。よろしく願い申し上げます。

○ 行事委員会 ○

行事委員会委員 東郷 茂

☆津波高潮ステーションの見学（大阪市西区江之子島2丁目1-64、地下鉄 阿波座すぐ）

3月に実施予定でしたが、東日本大震災の直後のため中止しました。改めて、8月下旬に実施します。

近畿地方南方海底では、東南海・南海地震が30年以内に60～80%の確率で発生するものと予想されています。

その際、大阪市内へは120分後に最大3mの津波がやってくると想定されますが、高さ10mの津波も最近では珍しくないものとなってきました。大阪の海岸沿いにある石油基地や工場群はどうなるのでしょうか。そんな情報が津波高潮ステーションにあるのです。

主なテーマは

1. 海より低いまち大阪
2. 災害をのりこえ着実な高潮対策
3. 高潮防災施設のはたらき
4. わたしたちの水防団
5. 高潮と異なる津波の脅威
6. 歴史の教訓を未来に生かす
7. ダイナキューブ津波災害体験シアター
8. 津波災害から命を守る知恵 など

☆忘年会

昨年12月には工業倶楽部関西支部の忘年会を大阪、梅田で盛大に行ないました。

○ 名簿編集委員会 ○

名簿編集委員長 渋谷欣司

会員名簿のメンテナンスを3回実施しました。今年度 新規入会者のうち、3名に「入会申込書」の提出をいただくようフォローし、名簿の作成をいたしました。

今年度の会員数変動は、新規入会 5名、退会 1名で、結果会員総数は、142名となっております。

～ 関西支部の行事と計画 ～

☆ 第1回交流会ゴルフコンペ ☆

第1回交流会ゴルフコンペを行ないました。

1. 日時：2010年12月3日（金）
2. 場所：茨木国際ゴルフ倶楽部
3. スタート時刻：午前8：27分
北コーススタート、後半：東コース
4. プレー方式：キャディ無し、セルフプレー、6インチリプレース有。
6. コンペ方式：ダブルペリア方式（ハンディ最大36）
7. 結果：優勝；井上和夫（グロス88）
ニアピン；塚口義清、井上和夫（以上敬称略）



☆ 安土城見学とゴルフの集い ☆

行事委員会委員長 栗野順二郎

今年はNHK大河ドラマ「姫たちの戦国」『お江』が人気で滋賀県は観光客が殺到しています。土木科OBの田中さんの寄稿にあるように歴史の宝庫、滋賀県で戦国時代を生き抜いた武将の跡地の見学とゴルフをこの機会に計画しています。

織田信長が築いた当時の最大の城郭は採掘が進み、スケールの大きさを彷彿させます。

初夏の日差しを浴びての観光を計画しましたが上記の如く滋賀県が多忙で十分な説明が聞けないとの事で、観光客が少し減少する11月であれば、滋賀県の観光は楽しくなるとの事で11月で計画しています。

計画原案が出来ましたらホームページに掲載致します。

ご希望事項などがございましたら、是非とも行事委員会にご連絡をお願い致します。

より楽しく、交流会を行なう為に変更は出来ると思います。

ゴルフは第1回交流会ゴルフコンペの評判が良かったので賞品満載のゴルフコンペを滋賀県のリゾートゴルフ場で行なう予定です。これから十分練習をされて、腕を振るっての御参加を期待しています。



‘夏草や 強ものどもの 夢の跡！’ 楽しみです！！！！

会員の声

身も心も落ち着かない春

若林伸紀 1974年 精密工学科卒

毎年、春になると気持ちがそわそわして来ます。というものの春は恋の季節です。早いものでは1月の終わりぐらいから、恋の相手を探します。また求愛の仕方色々あります。北へ帰るものも、予め相手を見そめてから帰るようです。その方が游も楽しいのではないのか。これは鳥の世界です。温暖化とかで多少ずれて来ているようですが、だいたい2月の末になるとウグイスが囀ります。その年になって初めて囀るのを『ウグイスの初鳴き』といいます。初鳴きの次は、夏の渡り鳥のツバメが何日来るか。初めてツバメを見るのを「ツバメの初認」といい、だいたい3月末ごろです。そして次にホトトギスが来ます。4月末ぐらいに「テッペン、カケタカ」と、朝から晩まで、時には夜中も啼きながら飛んでいます。5月の末になると山々は新芽の黄緑から緑が一段と勢いづきアオバミズクというミミズクの種類がやってきます。この鳥の名前は、「アオバ」のころに来る「ミミズク」からアオバズクとついています。というように山野が賑やかになるのが春です。だから春はじっとしてられないのです。

近江とお江

田中健晴 1965年 土木科卒

今年はNHKで大河ドラマ「江」が放映されている。滋賀県はこれまでも幾度となくドラマの舞台にもなった歴史の宝庫である。今、改めて滋賀について見つめ直す時、奥深い滋賀の魅力に気付く事が出来る。琵琶湖に代表される豊かな自然と数多くある歴史・文化資源そして近江商人で代表される卓越した先人について認識を新たにするいい機会になるのではと思っている。県土の6分の1を占める琵琶湖は世界でも名だたる古代湖として数多くの専門家の研究資源として注目されてきた。その役割の甚大であったことは図り知れないものがあるが、今世紀環境問題が地球規模で論議されている中でその象徴的な位置にあるのも琵琶湖である。浅井三姉妹も眺めたであろう歴代浅井氏が治めていた湖北小谷の広大な湖面と周辺の景観にも思いを馳せ是非一度この機会に近江の地に足を運んで戴ければ幸いに存じます。

ゴルフと私

青山勝沖 1969年 化学工業科卒

まずは3.11東日本大震災により、多くの方々の尊い命が失われたことに哀悼の意をささげます。また、被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。さて、僭越ながら会報への寄稿することになり、好きなゴルフについて一つの見方(偏見)を披露させて戴きます。その見方とはスコアの纏め方、攻め方、謂ゆるコースマネジメントが営業のプレゼンテーションに通じるものがあると思えることです。ハーフラウンドの9ホールに対し、最初の3ホールはプレゼン先へのアプローチ(静かに今日の調子を判断)、次の3ホールはプレゼン先と懇意になってキーマンに接触足掛かりを求める(その日の調子を掴み、好調なクラブ中心とした攻め方を考える)。最後の3ホールは商談成立への更なる努力をする(ハーフの目標パー達成)。9ホールを3つに分ける事は仕事の進捗に忠じた報連相と同じで必ずPDCAのサークルを廻すことは言うまでもありません。さらにもっと絞ると、ロングホールの2打目以降の攻め方にもプレゼンに通じるものを感じます。例えば、残り260ヤード、あなたならどう攻めますか?私なら2オンはあり得ないので3打目ではほぼ100%グリーンオンが可能な残り110~120ヤードまで運び(プレゼン先がその気になるここ一番をプレゼンする準備をする)、もしくは同じクラブで130ヤード2回打つ(同じプレゼンでも2度目の方がその気になり易い)ようにします。一番苦労するのが残り200ヤード前後です。競技会でなければ2オン狙いを楽しみ(プレゼン先に脈ありと判断したら一気に接待攻勢を掛け、一時も早くその気にさせる)、競技会なら100ヤード2回に徹します。明日の月例では短めのロングは2打目以降、同じショートアイアンを2回連続して絶対パーオンしよう。最後に、今回の寄稿が漸規会員拡大の一助になれば幸甚です。

私は5月になると工化の同窓会がありますのでホームページの宣伝をして参ります。

<名簿管理委員会からのお願い> “入会申込書”でお届け戴きました会員各位の個人情報、(1)会員各位への情報発信として、(2)会員相互の連携を計って戴く為の中継的役割として、支部活動を円滑に進める為に重要なツールとなっております。その為には、たえず生きた個人情報を把握しておく事が必要となります。

“お届け戴いている各位の情報に、変更が生じた時、また新規に設定された時”お手数ですが、事務局までご連絡戴くようお願い致します。

特に、電子メールでの情報提供を優先にしておりますので、メールアドレスを變更新たに取得された時は、お忘れなくご連絡、登録戴きますようお願い致します。今後も各位の情報の管理には万全を期し、支部活動にのみ活用させていただきます。

ご連絡、お問い合わせ:

岐阜大学工業倶楽部関西支部 事務局長 阪上 丈一
〒554-0012 大阪市西区立売1丁目4番9号中井産業ビル4F
TEL:06-6543-6186.Fax:06-6543-6186,E-mail:koei@lime.ocn.ne.jp

岐阜大学工業倶楽部関西支部
発行人 支部長 藤井 孝友
編集人 会報委員会 委員長 田中 健晴
担当 木内 尚之、菅村 浩